

平成 22 年 5 月 14 日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19730355

研究課題名（和文） フランスの少子化問題と出産奨励運動に関する歴史研究

研究課題名（英文） Declining Birth Rate and Pronatalist Movement in France

研究代表者

河合 務 (KAWAI Tsutomu)

鳥取大学・地域学部・准教授

研究者番号：10372674

研究代表者の専門分野：教育思想史

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：社会福祉史、少子化、家族、人口、教育、フランス、出産奨励運動、プロパガンダ

1. 研究計画の概要

少子化対策の必要性が叫ばれ、また一部に「家族の復権」に向けた「意識改革」の必要性が提唱される近年の状況と課題を浮き彫りにする参照軸として、19世紀から現在までこの問題に取り組み、近年「ベビーブーム」を迎えている国として注目されているフランスの出産奨励運動を歴史研究の対象として検討し、こうした動向が真の意味で女性・子ども・家庭の福祉につながるのかという論点への含意を探る。

2. 研究の進捗状況

フランス出産奨励運動の中軸を担い、現在も「公益承認非営利組合」として活動を続ける団体「フランス人口増加連合」に焦点を当て、同団体設立の背景、主な構成メンバー、政府・行政との関係、他団体との関係、産児制限運動との対抗関係、宣伝活動・教育活動の内容等について通時的・系統的な考察を行う。中心的史料は、同団体が発行した機関誌、会員名簿、パンフレット、関係者の著作物、関係者が構成員となった政府機関の報告書、等である。

暫定的な時期区分として、(1)同団体が設立された19世紀末～両大戦間期、(2)ヴィシー体制期（1940-1944）、(3)第二次世界大戦直後～1950年代、(4)1960年代～1970年代、(5)1980年代～現在、を設定し、それぞれの時期の活動内容を詳細に検討している。

考察に際しては、フランスの出産奨励主義（ナタリズム）がどのような内実を有し、どのように正統性を獲得し、フランスの家族政

策に影響を及ぼしているのかという視点から分析を行なうこととし、同団体による宣伝活動（プロパガンダ）および教育活動に注目して史料の収集と分析を進めた結果、(1)学校用ポスターや映画、教師用手引書など同団体が学校教育に並々ならぬ注目をしていたこと、(2)両大戦間期には「人口問題教育」が学校教育に導入されるに至ったこと、(3)「人口問題教育」は現行フランス教育基本法L312-14条にも規定されていること、(4)無子・少子の家族と多子家族との生活水準の同一化（経済的支援）の重要性が一貫して主張されてきたこと、(5)同団体が1918年-1944年まで雑誌『女性と子ども』を刊行し、家内領域の中心的担い手として女性を想定し、出産・育児のあり方を指南していったこと、等が明らかとなった。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

フランス出産奨励運動の中軸を担った「フランス人口増加連合」の周辺に残された史料を系統的に収集し、現在までに暫定的時期区分でいえば(1)～(4)までの時期の史料の分析を行い、その成果として雑誌論文6編（うち査読付論文3編）、学会発表1件として公表したことから、このように判断する。

4. 今後の研究の推進方策

(1)1960年代～1970年代までの出産奨励運動の展開に関する研究成果を公表する。

(2)1980年代～現在までの出産奨励運動に関

する史料の読解・分析を行なう。

(3) 1980年代～現在までの出産奨励運動に関する研究成果を公表する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 6 件)

- ① 河合務「戦後フランスの出産奨励運動をめぐる状況変化に関する考察——「ニューヴィルト法」(1967年)の成立を手がかりとして——」『地域学論集(鳥取大学地域学部紀要)』、査読無、第6巻第3号、2010年、pp.271-281
- ② 河合務「ヴィシー体制期フランスの出産奨励運動と「人口問題教育」——植民地帝国とフランス家族——」『教育目標・評価学会紀要』、査読有、第19号、2009年、pp.67-77
- ③ 河合務「〈家族の習俗〉とアソシアシオンの道徳論——フランス第三共和政期の「生活改善協会」を中心として——」『地域学論集(鳥取大学地域学部紀要)』、査読無、第6巻第2号、2009年、pp.105-116
- ④ 河合務「1930年代フランスにおける少子高齢化問題と出産奨励運動——「人口問題教育」の成立と関わって——」『日本教育政策学会年報』、査読有、第16号、2009年、pp.240-254
- ⑤ 河合務「戦時下日本の「結婚報国」思想と出産奨励運動——結婚報国懇話会を中心として——」『地域学論集(鳥取大学地域学部紀要)』、査読無、第6巻第1号、2009年、pp.23-34
- ⑥ 河合務「フランス第三共和政期の出産奨励運動と教育——「フランス人口増加連合」を中心として——」『教育学研究(日本教育学会)』、査読有、第75巻第3号、2008年、pp.14-26

[学会発表] (計 1 件)

- ① 河合務「教育史における家族・家庭」第53回教育史学会(於:名古屋大学、2009年10月10日)